

茨城  
県立

# IT 短大

School Guide  
2024

IBARAKI Prefectural Junior College of Industrial Technology



情報システムコース  
Information System



生産管理コース  
Production Control



情報セキュリティコース  
Information Security



## IT短大は 「大学校」に変わります

茨城県立産業技術短期大学校



茨城県



# IT

## から創造した未来へ

新規の高校卒業生から社会人などあらゆる層の人たちにとって“開かれた短期大学校”として幅広く県内の産業界に貢献できる  
高度かつ実践的なIT技術者を育成します。







## 知事 挨拶

茨城県知事

大井川 和彦



今や、デジタル技術は私たちの日常のあらゆる分野で活用され、AIの飛躍的進歩などの技術革新により、生活様式やビジネスのあり方が大きく変化しております。

特に、本県産業の発展には、新たな付加価値の創出やビジネス機会の拡大に向け、デジタル技術の活用は必要不可欠であり、デジタル技術に精通した高度な人材の必要性は、これまで以上に高まっております。

こうした中、産業技術短期大学校では、IoTやクラウドコンピューティング、AI、情報セキュリティなどに関する専門的な技術を、地元企業と連携した独自のカリキュラムのもとで学べる体制を整え、皆さんが企業の課題解決に貢献できる高度で実践的な技術を習得し、本県産業を支える「IT人材」として羽ばたいていけるよう、全力で支援してまいります。

さらに、2026年4月には新たに応用課程を開設し、大学校として開校するため、一層の機能の充実・強化を目指し、準備を進めてまいります。

将来の予測が困難な、激動の時代である今こそ、自らの力で未来を切り拓こうとする強い意志を持った皆さんの入学を、心よりお待ちしております。



## 学校長 挨拶

茨城県立産業技術短期大学校長

学校長 酒井 雄一



今日、IT（情報技術）は産業や生活のあらゆる場面で活用され、重要な社会基盤の一つになっており、これに伴ってIT業務を担う技術者が幅広い分野で求められています。このようなニーズに応える技術者を育成するために、本校は職業能力開発促進法に基づく県立の短期大学校として、IT社会を支える人材の育成に邁進しております。

本校では、専門教科から教養教科にわたる総合的なカリキュラム構成、少人数制によるきめ細かい指導、質的量的に十分整備された実習施設、企業等との連携などにより、高度かつ実践的なIT技術を円滑に取得していただくことができます。

これからの社会でITのプロフェッショナルとして活躍しようとする、意欲ある皆さんの入学をお待ちしております。



## 「教育理念」

県の産業振興に貢献できる人材等の育成  
県内企業の中核となる高度な技術を持った人材の育成  
実践的なプロフェッショナル等の育成

## 「特徴」

多様な人々に開かれた産業技術短期大学校をめざします。  
学生の豊かな人間性と創造力を伸ばします。  
少人数制によるきめ細かな指導を行います。

## (仮称) IT 大学校のイメージ図





# Curriculum **カリキュラム**

初心者でも無理なくITプロフェッショナルを目指せるようなカリキュラムとなっています。



1年前期	1年後期	2年	卒業後の活躍分野
<b>入学時</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ハードウェア</li> <li>●ソフトウェア</li> <li>●ネットワーク</li> <li>●データベース</li> <li>●システム開発</li> <li>●情報化と経営</li> <li>●一般教養 など</li> </ul>	<b>情報システムコース</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●プログラミング実習</li> <li>●ハードウェア実習</li> <li>●画像処理実習 など</li> <li>●IoT実習</li> <li>●卒業研究 など</li> </ul>		システムエンジニア 組み込みエンジニア ネットワークエンジニア
	<b>生産管理コース</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●プログラミング実習</li> <li>●データベース実習</li> <li>●数理統計実習 など</li> <li>●経営工学実習</li> <li>●ロジスティクス実習</li> <li>●卒業研究 など</li> </ul>		システムエンジニア データベースエンジニア アプリケーションエンジニア
	<b>情報セキュリティコース</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●プログラミング実習</li> <li>●データベース実習</li> <li>●リスクコントロール実習 など</li> <li>●セキュリティ実習</li> <li>●卒業研究 など</li> </ul>		システムエンジニア アプリケーションエンジニア セキュリティエンジニア

## 主な授業



一般教養



プログラミング実習



卒業研究発表



# 茨城県立IT短大5つの特色

就職意識の向上や就職活動に関する情報提供、能力向上のためのさまざまな取り組みを実施しています。

\ Point /

1

## 就職に強い

企業ニーズを取り入れた高度で実践的なカリキュラム

\ 開校以来 /

就職率

100%

システム開発実習



専門力  
【アプリ】

専門力

社会人  
基礎力

コミュニケーション力育成



社会人  
基礎力  
【OS】

問題解決技法





Point /

2

## 国家試験の高い合格率

全国短大トップクラス /



### IT技術者の証

基本情報技術者試験は、IT技術を証明する国家試験として、IT企業から高く評価されています。本校では、難関資格でありながら**高い合格率**を誇っています。

#### ■科目免除

本校のカリキュラムが免除対象科目履修講座に認定されているため、試験の科目免除が受けられ、難関資格を有利に受験できます。

#### ■高い合格率

全国短大トップクラスの合格率を誇っています。全国合格率が20%前後と難関の国家試験である基本情報技術者試験に約70%の学生が合格しています。

#### ■就職に有利

多くのIT企業では、合格者に対して資格手当などといった報奨金制度を設けています。企業で必要とされている資格であるので、就職が非常に有利になります。

Point /

3

## 充実した学習環境

1クラス20名の少人数制

実務経験豊富な指導スタッフ

Point /

4

## 最先端の技術を学ぶ

ビッグデータ

IoT

AI

Point /

5

## 企業との連携

本校は、創造力豊かで実践的な技術者の養成機関として、企業等と連携、協力し、産学一体となった人材の育成を目指しています。このような趣旨のもと、企業等の賛同をいただき「茨城職業能力開発推進協議会」を設置しています。(会員数約120社)。同協議会の事業内容は、本校で行う人材育成に対する助言、本校学生のインターンシップ等の受け入れ、相互の技術情報等の提供、講演会・セミナーの開催等です。





# Graduate Interview

卒業生インタビュー



それが一番のやり甲斐です。

作って、完成させる、

技術を学んで、

株式会社NESI  
金田 美咲さん  
〔平成28年度卒〕

「技術を学んで、作って、完成させる、それが一番のやり甲斐です。」福島復興支援のためのドローン開発に携わる金田さん。彼女は佐竹高校を卒業し、本校に入学しました。パソコン部だった金田さんは、もともとIT業界に興味があり、オープンキャンパスに参加して進学を決めたそうです。本校では女子テクノサークルで工作教室を開いたり、充実した学校生活を送れたといいます。

最近IT業界では、女性の人口も着々と増えています。職場について、「相談しやすい雰囲気です。女性も働きやすい。」という金田さん。彼女は一人の社会人として、そして一人のエンジニアとして、チームに貢献できる環境でのびのびと働いています。

最後に「やりたいことはやれば良い。」そう語ってくれました。彼女はこれからもITエンジニアとして躍進することでしょう。







首都圏や茨城県の地域に密着した多くのソリューションサービスやインフラ事業を展開しているIT企業で金融系システムの保守開発をはじめ大規模ポータルサイト開発などを経て現在はクラウドサービスアプリとスマートフォンアプリ開発案件に取り組む6人チームのリーダーとして日々業務に携わっている久野さん。

徐々にアプリが形になっていくとともに一緒に仕事をしている後輩が成長していく姿にやりがいを感じるといいます。

久野さんは水戸工業高校から進学しました。学校生活を振り返るとIT短大で多くの授業や演習で「意欲的に学び自ら考える姿勢を身に付けたこと」や「先生から指導された実践的な課題が入社後の業務とほとんど変わりませんでしたのでギャップを感じることなく業務を遂行できました。」と語る久野さん。

本校で養われた自主性は、彼の仕事への取り組む姿勢の基盤となっています。

「仕事は常に自ら考えるものが多く新しい技術や知識を吸収できるように努め、アプリ開発では作るだけではなく、どのように使われるか、レアな状況までじっくり考える。」と語る久野さん。

自ら行うコーディングのほかソースコードのレビューやチームの進捗など管理業務も増えているそうで、今後は技術や知識に加えてマネジメント回りもしっかりこなせるようになりたい。そういった姿勢まで学ぶことはIT短大ならではのです。



身に付けることができました。

意欲的に学ぶ姿勢を

IT短大では

関東情報サービス株式会社  
久野 航さん  
(平成27年度卒)